様式2－2

令和8年2月3日

# 令和7年度　評価計画及び自己評価

（ 計画 ・中間 ・最終 ）

明徳中学校区　校番 29　明徳小学校

| | | | |
|---|---|---|---|
| a 学校教育目標 | 〈学校教育目標〉<br>自ら学び　ともに伸びる | b 経営理念<br>ミッション・ビジョン | 〈ミッション〉<br>確かな学力と豊かな心を土台に，自身の夢や志に向けて挑戦するたくましさをもった児童の育成<br>〈ビジョン〉<br>児童を伸ばし，寄り添い支援する教職員<br>地域や家庭に信頼される学校 |

| | |
|---|---|
| c 中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点 | 本中学校区では小中で連携し，児童生徒の主体的な学びに向け，「子どもが進める『めいとく・トライ』」を中心とした授業改善に取り組むことで，児童生徒が学習に自分事として向き合い，他者と協働しながら課題解決に取り組む姿が見られるようになってきている。今年度は，「子どもが進める『めいとく・トライ』」の取組を一層推進し，育てたい資質・能力を育成を図るとともに，「防災教育の深化と自己有用感の育成」「安心・安全な教育環境の整備」に向けた取組を進めていく。 |

| | |
|---|---|
| 育成を目指す資質・能力 | ① 知識・技能　② 思考力・判断力・表現力　③主体的に物事に取り組む態度 |

| 評価計画（中期経営目標を設定してから 1 ・ (2) ・ 3 年目） | | | | | | 自己評価 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 上半期 | | | 下半期 | | |
| 重点 | d 中期（3年間）経営目標 | e 短期（今年度）経営目標 | f 目標達成のための方策（こんなことをして達成します） | g 指標（効果を見とる目安） | h 目標値 | i 達成値 | j 達成度 | k 評価 | i 達成値 | j 達成度 | k 評価 |
| ★★ | 授業改善の推進 | (貫) 子どもが主体的に学ぶ授業づくり | ○「個別最適な学び（指導の個別化と学習の個性化）」と「協働的な学び」の一体的な充実<br>○子どもが進める「めいとく・トライ」の推進<br>○特別支援や児童理解の視点を取り入れた授業改善<br>○学習を実生活場面とつなげる学習活動の設定<br>○ICTの効果的な活用<br>○「学習フリータイム」の充実 | 「授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいる」の肯定的回答割合 | 95% | 98.0% | 103% | A | 100% | 105% | A |
| | | | | 「学習した内容について，分かった点やよく分からなかった点を見直し，次の学習につなげることができている」の肯定的回答割合 | 95% | 92.0% | 97% | B | 98% | 103% | A |
| ★★ | 防災教育の深化と自己有用感の育成 | (貫) 個を大切にした支援の充実 | ○異年齢・地域社会等，世代を越えた他者と関わり合う場の設定<br>○児童が主体となり，企画・運営する行事や学習活動の推進<br>○児童の主体的な「いじめ撲滅キャンペーン」の取組の充実<br>○適切な実態把握に基づいた組織的な対応と共感的な人間関係作り<br>○職員や児童相互が肯定的評価（褒める，感謝する）する取組 | 「自分にはよいところがあると思っている」の肯定的回答割合 | 95% | 98% | 103% | A | 98% | 103% | A |
| | | (貫) いじめを許さない学校環境づくり | | 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」児童の割合 | 95% | 100% | 105% | A | 100% | 105% | A |
| | | (貫) 自分の命は自分で守る力の育成 | ○生活リズムカードの活用の工夫<br>○系統的・実践的な防災学習の充実<br>○家庭・地域を巻き込んだ実践的な防災教育の取組 | 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。」の肯定的回答割合 | 92% | 94% | 102% | A | 95% | 103% | A |
| | | | | 「地域に起こりやすい災害について理解している」の肯定的回答 | 100% | 94% | 98% | B | 100% | 100% | A |
| ★★★ | 安心・安全な教育環境の整備 | (貫) 教職員による不祥事の根絶 | ○教職員の当事者意識を高める服務規律研修の充実<br>○不祥事防止委員会による校内巡視の徹底<br>○風通しのよい職員室づくり | 「日々の業務の中で充実感を得られている」と感じる教職員の割合 | 100% | 100% | 100% | A | 100% | 100% | A |
| | | (貫) 働き方改革の推進 | ○業務の精査と意識改革<br>○ICTの活用<br>○ペーパーレス化の推進 | 時間外勤務が月45時間を超える教職員の数 | 2人 | 100% | 100% | A | 100% | 100% | A |

【k：評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60